

令和6年度 全国学力・学習状況調査 能美市結果〔中学校〕

令和6年9月 能美市教育委員会

- 1 実施校・学年 市内3中学校 第3学年
- 2 実施日 令和6年4月18日（火）
- 3 実施内容 （文部科学省HPより引用）

（1）教科に関する調査 国語，数学

＜出題範囲＞

調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とする。

＜出題内容＞

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- 調査問題では，上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については，国語及び算数・数学においては，記述式の問題を一定割合で導入する。

（2）質問紙調査（生徒質問紙） 学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等 ICT端末を用いたオンラインによる回答方式で実施する。

4 注意事項

調査結果は学力の特定の一部であり，学校における教育活動の一つの側面であることをご理解ください。

5 調査結果

（1）教科に関する調査の状況

【国語】

＜成果＞

- ・目的や意図に応じて集めた材料を整理して伝えたいことを明確にすることができています
- ・資料を用いて自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかどうかをみることをできています
- ・文脈に即して漢字を正しく書くことができています

＜課題＞

- ・文章と図とを結び付け，その関係を踏まえて内容を解釈することに課題があります
- ・表現の効果を考えて描写する等，考えが伝わる文章になるように工夫することに課題があります
- ・短歌の内容について，描写を基に捉えることに課題があります

【数学】

＜成果＞

- ・考察の対象を明確に捉え，正の数と負の数の加法の計算ができることができています
- ・二つのグラフにおけるy軸との交点について，事象に即して解釈することができています
- ・グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができています

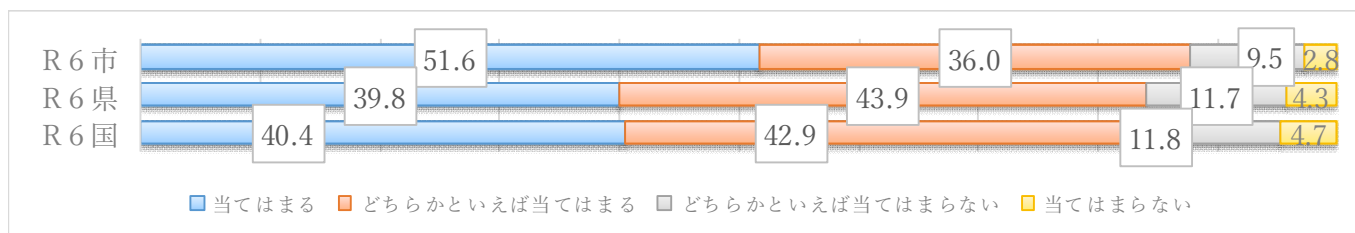
＜課題＞

- ・事象を数学的に解釈し，問題解決の方法を数学的に説明することに課題があります
- ・事象の角の大きさに着目して観察し，問題解決の過程や結果を振り返り，新たな性質を見いだすことに課題があります
- ・複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り，判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題があります

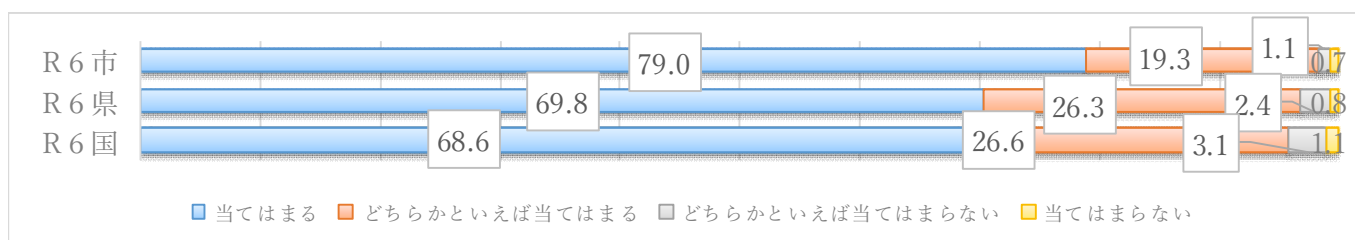
（２）生徒の状況を示す質問紙調査から見てくる能美市の中学校３年生の姿

① 自分にはよいところがあり，人の役に立ちたいと思う生徒が多くいます。

＜自分には，よいところがあると思いますか＞

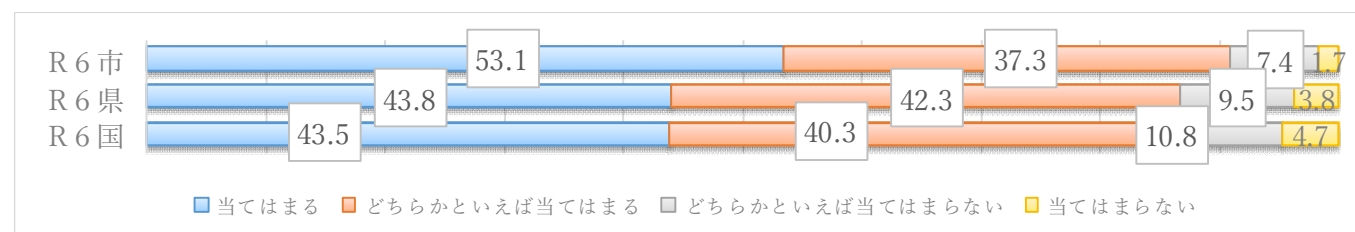


＜人の役に立つ人間になりたいと思いますか＞

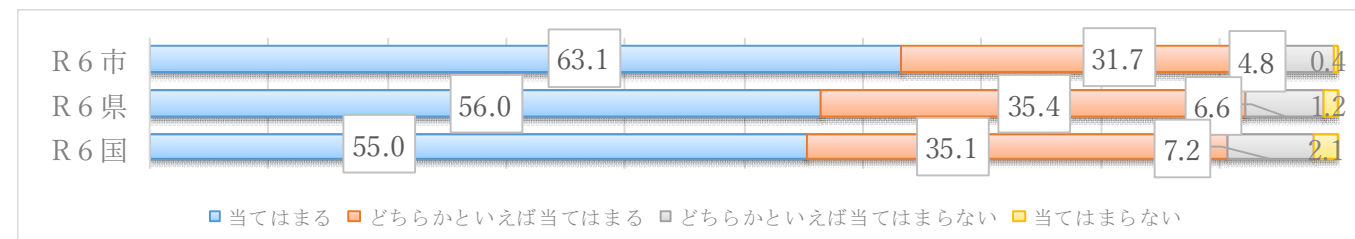


② 楽しく学校生活を過ごしている生徒が多くいます。

＜学校に行くのは楽しいと思いますか＞



＜友達関係に満足していますか＞

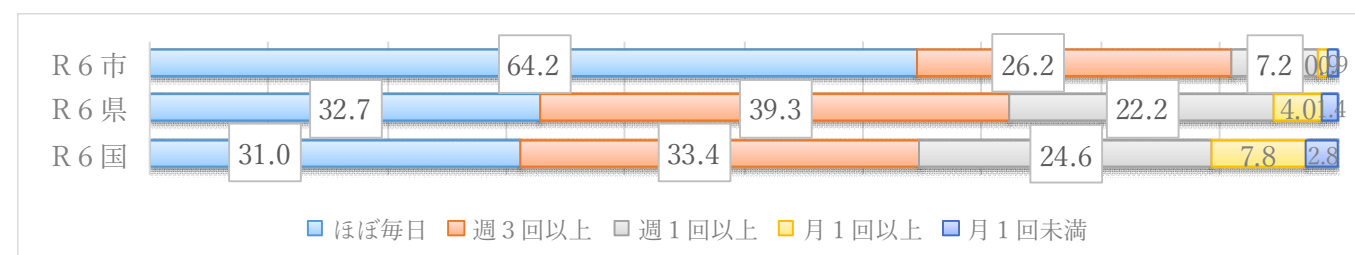


【質問紙調査で「当てはまる」「どちらかといえばあてはまる」など肯定的に回答している生徒の割合】

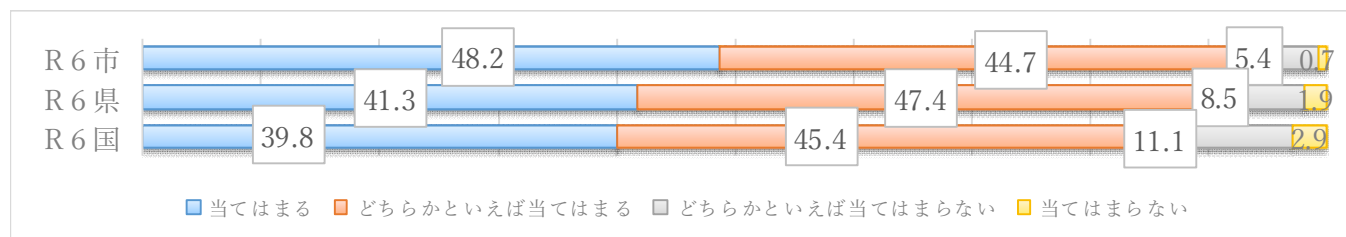
- ・人が困っているときは，進んで助けますか（96.1%）
- ・先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（92.1%）
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか（86.1%）
- ・普段の生活の中で，幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。（90.9%）

③ １人１台端末など ICT 機器を活用した授業の充実により，学びを深めている生徒が多くいます。

＜P C ・ タブレットなどの I C T 機器をどの程度使用しましたか＞



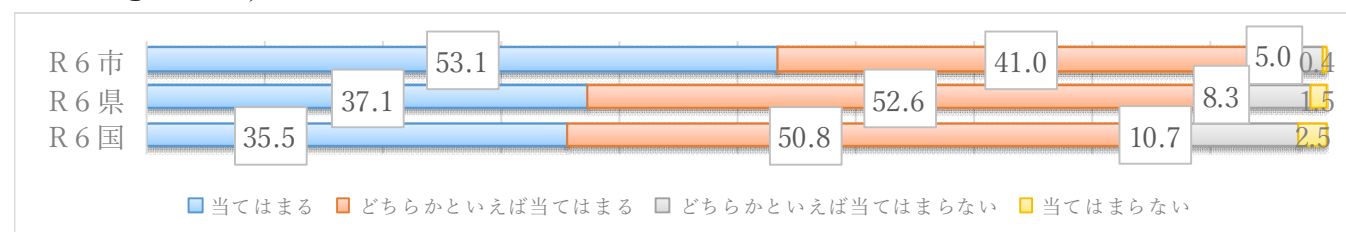
<友達と協力しながら学習を進めることができる>



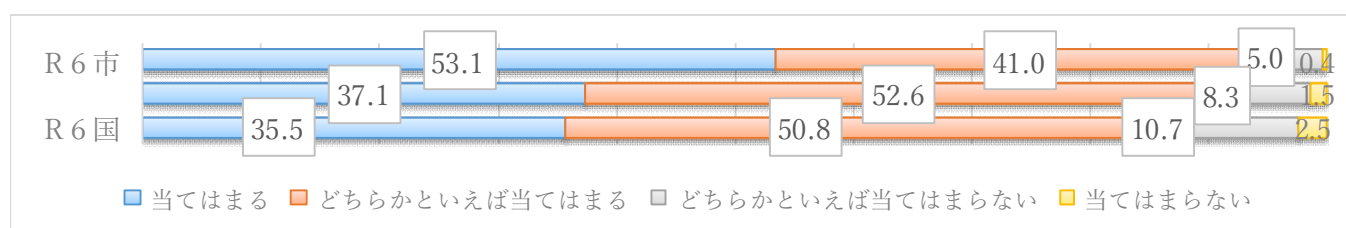
- ・楽しみながら学習を進めることができる (88.5%)
- ・自分のペースで理解しながら学習を進めることができる (93.1%)
- ・分からないことがあった時に、すぐ調べることができる (96.6%)
- ・友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる (94.4%)
- ・画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる (94.6%)
- ・自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる (85.7%)

④話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする生徒が多数います。

<学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか>



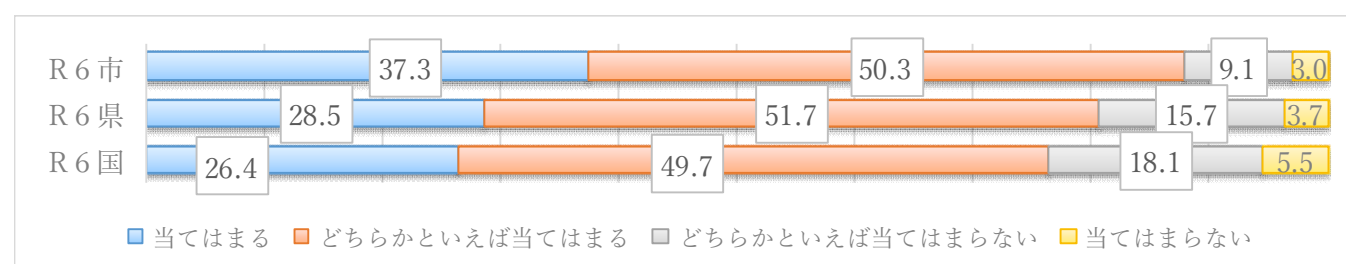
<あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか>



- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。(88.5%)
- ・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。(85.5%)
- ・友達や周りの人の考えを大切にして、協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。(96.5%)
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。(91.3%)
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。(96.7%)

⑤地域や社会を良くするために何かをしてみたいと思う生徒が多数います。

<地域や社会を良くするために何かしてみたいと思いますか>



(3) 教科に関する調査・質問紙調査の結果をふまえて

能美市教育委員会及び能美市内各校において、これまで子供たちの学力や学習状況を把握し、学力向上につながる取組を行ってきましたが、その取組の成果が少しずつ結果に表れてきていると捉えています。これまで行ってきた以下の取組を今後も継続して、地道に実践を重ねていくことで、能美市の子供たちの力をさらに伸ばしていきたいと考えています。

能美市教育委員会と学校が推進していくこと

■ 学校全体で取り組む学力向上

能美市教育委員会では、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を確実に育成することが重要だと考えています。

教科に関する調査の内容は、これからの子供たちに必要な資質・能力が、教科の内容を通して表されたメッセージと捉えています。実施した当該学年に限定した結果とするのではなく、解答状況や誤答の傾向を設問ごとに丁寧に分析することで、学校全体で授業改善に取り組み学力向上を目指します。

■ 学びを自覚できる授業づくり

能美市の学校では一人一人の資質・能力を伸ばせるように、下記のような授業を目指し学校全体で取り組みます。

- ・授業の目標を生徒と共有し、学ぶ目的が明確になっている授業
- ・各教科の知識や技能がしっかりと定着する授業
- ・自分の考えを持ち、生徒同士の学び合いで考えを広めたり深めたりできる授業
- ・思考・判断したことを、根拠や筋道を明確にして表現する力を育む授業
- ・視点を明確にして授業を振り返るなど、1人1人が個に戻って自分の学びを自覚できる授業
- ・1人1台端末やICT機器を効果的に活用することで、個別最適な学びと協働的な学びが一体となって実現する授業

■ 学びの基盤づくり

学習の基盤をつくる活動を充実させ、周りの人を大切にし、互いに高め合っていく学級づくり・学校づくりを推進します。子供たちが、安心して過ごせる学級・学校を目指していきます。

家庭・地域の方々と協働して進めていきたいこと

■ 「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進

毎日決まった時間に寝起きすること、食事をきちんととることは、子供たちが学校生活を生き生きと過ごす基盤となります。規則正しい生活「早寝・早起き・朝ごはん」を家族みんなで心がけましょう。

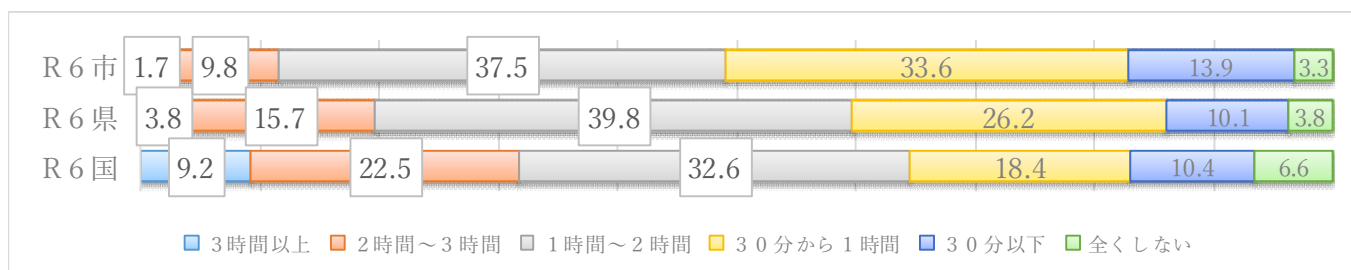
■ 節度あるメディアの使い方

メディアは本来、正しく利活用すべきものですが、適正な使い方ができないと生活が乱れてしまいがちです。テレビやゲームの時間や携帯電話やスマートフォンなどの使用と合わせて、ネットトラブルを防ぐためにも、家庭でしっかりと話し合っ規則を決めましょう。

■ 家庭学習の確立

質問紙調査では学校の授業以外に、平日に1時間以上勉強している生徒は約5割となっており、課題の一つです。学校での学習内容を身につけるためにも、継続した家庭学習習慣を身に付けましょう。

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



テレビやゲーム、携帯電話・スマホの適切な使い方について、家庭でルールをつくり、予習や復習などの家庭学習を充実させましょう！